

滞在先について(寮・ホームステイ・アパート)

1.寮

イギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、NZ やその他の欧米の大学では、どの大学にも基本的に寮があります。入学初年度は全員分の部屋を確保している大学が多いです。この記事では、イギリスの例をご紹介します。

部屋タイプは大きく **Shared bathroom**、**En-suite**、**Studio** の 3 タイプがあります。費用は **Shared bathroom** が最も安く、**Studio** が最も高い傾向にあります。

■**Shared bathroom** : 寝室と机が個室にあり、お手洗いやシャワー、洗面台を同性の他の寮生と、キッチン进行他の寮生と共有するタイプのお部屋です。他の学生とのコミュニケーションを大事にしたい、費用を抑えたい場合にお勧めのお部屋タイプです。

■**En-suite** : 寝室と机に加え、お手洗いやシャワー、洗面台が個室にあり、キッチンのみ他の寮生と共有するタイプの部屋になります。洗面台やシャワー、お手洗いの混雑を避けたいけれども他の学生とのコミュニケーションを大事にしたい場合にお勧めのお部屋タイプです。

■**Studio** : お手洗、シャワー、洗面台、寝室、キッチン全てが 1 部屋に揃っているタイプの部屋となります。完全にプライバシーが確保された場所をご希望の場合にお勧めのお部屋タイプです。

メリット :

- ・警備員が 24 時間常駐しているため、セキュリティがしっかりしています。
- ・(特に **Shared bathroom** や **En-suite** タイプのお部屋の場合)他の学生や留学生とのコミュニケーションを取りやすい傾向にあります。
- ・比較的滞在費用を抑えやすい傾向にあります。

デメリット :

- ・たとえどんなに合わない、厳しすぎると感じても寮のルールを守る必要があります。
- ・他の寮生とトラブル(例 : 共用スペースの冷蔵庫に保管していた自分の食糧を他の学生に食べられてしまう、夜中に騒音を出す学生がいる、夜中に騒音を出さないようにと他の学生から言われる)になることもあります。
- ・マットレスとベッドフレーム以外の寝具は自己負担になることが多いです。
- ・(特に **Shared bathroom** の場合)朝や夜にシャワーやトイレが混雑し、自分が思うような時間で入浴やトイレに行けないこともあります。
- ・(イギリスの場合)学校にもよりますが、寮の部屋はいずれのタイプでも自炊型かつ個室スペースに関しては自分で清掃を行う必要があります。そのため、日本にいるうちから家事の練習はある程度されることをお勧めします。(一部学校によっては、米国のようにミールプ

ランなど食事付きの寮がある場合もございます。)

・長期休み(特に学年が変わる前の夏休みなど)の期間はメンテナンスや寮のスタッフの休暇、短期留学生の受け入れなどで寮を出るように言われる場合もあります。学部生の場合は、早ければ5月末、一般的には6月ごろに一時的に退寮すると言われることが多いです。その間を利用して一時帰国する、旅行をする、寮や学校でできた友人の実家に泊まるなど、その間の滞在先の確保も併せて、前もって計画しましょう。

2.ホームステイ

ホームステイは、現地のホストファミリー宅に滞在する方法です。基本的に、ホームステイは上記の寮の **Shared bathroom** のような形式で滞在しますが、個室部分の掃除はホストファミリーにしていだける場合もあります。また、ホームステイはお客様ではなく、一時的にとはいえ、そのホストファミリーの一員となります。そのため、入居時にきちんとホストファミリーとルールについて話し合い、確認しましょう。

メリット：

- ・現地の暮らしを体感でき、ホストファミリーと一生のご縁になるかもしれません。
- ・食事がついていて多いため、自炊が不安な方も安心です。
- ・ご家庭によっては部屋の掃除もしていただけます。(それでも、マナーとしてできるだけご自身でお使いになる場所をご自身で掃除するように心がけるといいでしょう。)
- ・長期休みでもステイ費用を支払いさえすれば滞在可能なステイ先もあるため、長期休み中の滞在先の確保や一時帰国が不要になります。

デメリット：

- ・ホストファミリーとトラブル(例：喧嘩になって仲直りができず、出ていけと言われた、差別された、不当に扱われる、ホストファミリーに貴重品を盗まれた、ステイを決めた当初と約束が違うなど)になることがあります。
- ・ステイ先のご家庭のルールが厳しすぎて合わないという可能性があります。
- ・ステイ先によっては、長期休暇の際に一旦出ていくよう言われ、その間の滞在先や一時帰国の手配を行う必要が出てくる場合もあります。

特に、ホストファミリーとトラブルになった、ステイ先のご家庭のルールが厳しすぎて合わないといったようなことを感じられた場合は決して我慢せず、速やかに進学先の大学や、留学斡旋企業等にご相談ください。

ホームステイ先は **SNS** で探す、留学斡旋企業などを通じて探す、進学先の大学を通じて探すなどの方法がありますが、トラブル回避のために留学斡旋企業やご進学先の大学を通じて探す方法をお勧めします。

3.アパート

日本と同じように、大家さんと契約をして部屋を借ります。主に、2年生以上の学生に人気のプランです。1年目に学生寮やクラス、サークル活動などで仲良くなった他の学生と一緒にルームシェアをするケースがよくあります。部屋は、現地の不動産会社、SNS、留学斡旋企業、進学先の大学を通じて探すことができます。留学生だからという理由で不当な契約を結ばされたなどのトラブル回避の観点から、留学斡旋企業や進学先の大学を通じて探すことをお勧めします。また、寮よりも自己責任の部分は大きくなるため、ご家族や友人、進学先の大学の留学生課や、留学斡旋企業経由での留学の場合は留学斡旋企業など、様々な方々に相談して慎重にアパートに住むかどうか、住むと決めたらどのアパートの部屋を借りるのかを決めましょう。

メリット：

- ・プライバシー重視の方のための部屋から、ルームシェア前提の部屋まで幅広くあります。
- ・大学の学生寮よりも費用を抑えられるケースもあります。
- ・長期休みでも家賃を支払いさえすれば、基本的に滞在可能なため、長期休み中の滞在先の確保や一時帰国が不要になります。

デメリット：

- ・大家さんやルームメイトとトラブル (例：外国人だからという理由で不当な契約を結ばされた、大家さんやルームメイトに貴重品を盗まれるなど) になることもあります。
- ・大学が持つ寮同様、食事はついていないため、自炊する必要があります。また、共用スペース以外は自分で掃除をする必要があります。そのため、日本にいるうちから家事の練習はある程度されることをお勧めします。
- ・24時間警備員や管理人が常駐していないこともあるため、セキュリティ面で大学寮より劣る面もあります。
- ・寮よりも自己責任の部分が大きくなります。

特に、大家さんやルームメイトとトラブルになった場合は、進学先の大学、留学斡旋企業、現地の不動産会社などに速やかに相談しましょう。